



## 台風による暴風 鹿島川・高崎川が冠水

9月の台風15号・19号による大風害および10月25日の豪雨により被災された地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

### 浸水被害(舟戸水草園・かっぱ公園)

整備中の舟戸水草園と、かっぱ公園が浸水してしまいました。修理中の人工浅瀬いかだの支えの単管パイプは倒れ、栈橋は水草園の畦(観察路)に乗り上げてしまいました。

「2019年度コメリ緑資金助成事業」で、アサザとスイレン池の周りの畦(観察路)に人工芝を敷きましたが、枯草や打ち上げられたゴミで補修が必要です。

### 基盤整備で様子が一変「かっぱ公園」

舟戸一里塚造設に向け、千葉県による基盤整備が11月で終わり、様子がすっかり変わりました。作業小屋と花壇が浸水し、刈り払い機2台と豆トラ1台が故障しました。

刈り払い機は飯島会員が修理をしてくれました。感謝です。

移動しておいたかっぱオブジェ、テーブルとベンチ、看板が新しい公園に戻りました。

花壇は土手(堤防)下に再生し、チューリップ、ピオラを植え付けました。大看板は移動保管中に腐食したため、来年度に新規作成をする予定です。

## 印旛沼流域環境・体験フェアが中止

[第16回(2019年度)]

10月26日(土)、27日(日)に予定していた印旛沼流域環境・体験フェア及び26日実施予定クリーンウオーク(佐倉市印旛沼一斉清掃)が、天候不良のため中止となりました。当会もステージ出演者への依頼や、「どじょうつかみ」、展示などの準備、市民企画部会でも「印旛沼クイズ」など、それぞれ力を入れて準備しましたが、やむを得ませんでした。今年の自然の力に、人間の無力さを感じました。

東北のある米農家の語った「自然が育てたお米、5年に一度はあるから今回の台風で被害があったけど……これも自然なんだから天候を恨むこともない!」という言葉が印象的で、考えさせられる深い言葉でした。

## 当会の「印旛沼の水質浄化活動」 に対して佐倉市より表彰状授与!

11月3日、佐倉市より当会に対し長年にわたり印旛沼の水質浄化を推進し、市の環境保全に尽力したという内容の表彰状が授与されました。

また記念品として刈り払い機1台と替刃(2万円相当)を頂きました。



授与された賞状

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

長年親しまれた

「日本の米カレンダー」ともお別れ！

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

富山和子先生が平成元年より30年間にわたり執筆され、多くの方々に親しんでいただいた「日本の米カレンダー」は、先生のご都合により終了することとなりました。

従いまして2020年のカレンダーは販売致しませんせんが、会員の皆様はじめ関係の方々には長年にわたりご愛用を賜り、誠に有り難う御座いました。

富山和子先生は「水田はダム」の名言をはじめ、日本人の心の原点である米の文化を通して環境問題を提唱されました。これからもお元気でご指導下さるよう望んでおります。



現在のかっぱ公園 2019. 11



浸水した笠井記念舟戸水草園 2019. 10

写真で見る活動の報告



畦に人工芝を張る 2019. 6



アサザ池でヨシを除去 2019. 6



いかだ修理の為水槽引き上げ 2019. 7



ふるさと広場水草園に移植 2019. 8